



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年5月14日

上場会社名 株式会社シンカ 上場取引所 東
 コード番号 149A URL <https://www.thinca.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江尻高宏
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 飯田裕樹 TEL 03-6721-0415 (代表)
 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の業績 (2026年1月1日～2026年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	423	23.8	△42	—	△44	—	△45	—
2025年12月期第1四半期	341	17.1	11	△48.9	11	923.7	7	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	△14.14	—
2025年12月期第1四半期	2.25	2.17

(注) 2026年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	1,236	1,008	81.5
2025年12月期	1,279	1,047	81.9

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 1,008百万円 2025年12月期 1,047百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の業績予想 (2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,858	26.9	△579	—	△580	—	△546	—	△170.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期 1 Q	3,234,320株	2025年12月期	3,206,320株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	一株	2025年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期 1 Q	3,213,076株	2025年12月期 1 Q	3,170,960株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、決算補足説明資料をTDnetで本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。また、2026年5月14日（木）に決算説明会をオンライン配信にて開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(表示方法の変更に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、米国イランの対立による中東地域での紛争激化やロシアウクライナ情勢の長期化により、地政学リスク、資源・エネルギー価格の変動、そして物価上昇や金融引き締めによる影響など、依然として不透明な状況が続いております。このような経済情勢の下、当社が属するクラウドサービス市場は、デジタル化の進展と企業におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）推進の加速を背景に、引き続き高い成長を示しています。国内企業のクラウドサービス利用率は年々増加しており、業務効率化やデータドリブン経営への意識の高まりから、クラウド技術の活用は不可欠なものとなっています。特に、AIやIoTといった先端技術との連携が進み、より高度なクラウドサービスのニーズが顕在化しています。

当社では、AIの実装を積極的に進め、ユーザーの皆様のご要望に応えるために、昨年度後半より毎月新たな機能の実装を継続しており、今後も積極的に対応してまいります。

このような状況下で、当社はカイクラの継続的な販売とサービス提供に努め、当第1四半期会計期間末のカイクラアクティブユーザー拠点数は6,415拠点（前年同期末5,787拠点。前年同期比10.9%増）となりました。

この結果、売上高は423,300千円（前年同期比23.8%増）となりました。

また、サーバー利用料やカイクラアダプター費用、これらの設置費用などにより売上原価を82,063千円、人件費や広告宣伝費などにより販売費及び一般管理費を383,465千円計上しております。この結果、営業損失は42,227千円（前年同期は11,671千円の営業利益）となりました。さらに、受取利息や支払利息を計上した結果、経常損失は44,083千円（前年同期は11,958千円の経常利益）、四半期純損失は45,428千円（前年同期は7,119千円の四半期純利益）となりました。

利益面では損失を計上する結果となっておりますが、2026年2月13日に発表させていただきました今年度業績計画や中期計画にもありますように、今年度は将来の成長に向けた積極投資の年と位置付けており、引き続き成長に向けた投資を進めてまいります。

なお、当社の事業セグメントは、単一セグメントでありますので、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産合計は1,061,905千円となり、前事業年度末に比べ64,390千円減少いたしました。これは、主に現金及び預金が71,652千円減少、売掛金が12,097千円増加したことなどによるものであります。

固定資産合計は174,811千円となり、前事業年度末に比べ21,421千円増加いたしました。これは、主に有形固定資産合計が14,393千円増加、無形固定資産合計が2,664千円増加、投資その他の資産合計が4,363千円増加したことなどによるものであります。

この結果、資産合計は1,236,716千円となり、前事業年度末に比べ42,968千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債合計は228,579千円となり、前事業年度末に比べ3,639千円減少いたしました。これは、主に未払消費税等が14,240千円減少、未払費用が5,789千円減少、預り金が4,892千円減少、未払金が20,789千円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は228,579千円となり、前事業年度末に比べ3,639千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は1,008,137千円となり、前事業年度末に比べ39,328千円減少いたしました。これは利益剰余金が45,428千円減少、新株予約権の行使による資本金3,050千円の増加及び資本剰余金3,050千円の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2026年2月13日に「2025年12月期 決算短信[日本基準]（非連結）」で公表いたしました業績予想から変更はありません。なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	984,502	912,849
売掛金	79,088	91,186
商品	19,066	12,013
前払費用	26,239	37,680
その他	17,919	8,760
貸倒引当金	△520	△584
流動資産合計	1,126,296	1,061,905
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	33,889	39,025
工具、器具及び備品	30,054	42,044
減価償却累計額	△21,071	△23,804
有形固定資産合計	42,871	57,264
無形固定資産		
ソフトウェア	49,433	78,891
ソフトウェア仮勘定	27,076	—
その他	3,298	3,581
無形固定資産合計	79,808	82,472
投資その他の資産		
敷金	30,542	34,979
その他	167	93
投資その他の資産合計	30,709	35,073
固定資産合計	153,389	174,811
資産合計	1,279,685	1,236,716

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	22,316	26,026
短期借入金	60,000	60,000
未払金	44,495	65,285
未払法人税等	7,919	3,450
未払消費税等	28,373	14,132
契約負債	35,801	36,998
その他	33,313	22,686
流動負債合計	232,219	228,579
負債合計	232,219	228,579
純資産の部		
株主資本		
資本金	397,249	400,299
資本剰余金	710,874	713,924
利益剰余金	△60,657	△106,086
株主資本合計	1,047,466	1,008,137
純資産合計	1,047,466	1,008,137
負債純資産合計	1,279,685	1,236,716

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	341,962	423,300
売上原価	61,050	82,063
売上総利益	280,912	341,237
販売費及び一般管理費	269,240	383,465
営業利益又は営業損失(△)	11,671	△42,227
営業外収益		
受取利息	460	886
その他	56	28
営業外収益合計	517	914
営業外費用		
支払利息	229	309
事務所移転費用	—	2,461
その他	0	—
営業外費用合計	230	2,770
経常利益又は経常損失(△)	11,958	△44,083
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	11,958	△44,083
法人税、住民税及び事業税	1,280	1,345
法人税等調整額	3,558	—
法人税等合計	4,838	1,345
四半期純利益又は四半期純損失(△)	7,119	△45,428

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更に関する注記)

(貸借対照表)

前事業年度において、流動資産「その他」に含めて表示していた「前払費用」、流動負債「その他」に含めて表示していた「未払消費税等」は、表示上の明瞭性を高めるため、当事業年度より区分掲記しています。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の貸借対照表の組替えを行っています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	4,525千円	6,646千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社の事業セグメントは、サイクル事業のみの単一セグメントであり、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。